

# 校長講話 5月10日（月） 全校朝会（5月）

## みんなで 明るく元気なクラスに ～ 「明るい」という字に秘められた意味 ～

みなさん、おはようございます。

ところで、みなさん。この字は何と言う字か、知っていますか。

この「明（るい）」という字は、日と月の組み合わせでできています。

「日」は、太陽を表しています。太陽の明るさは自ら燃える明るさ、月の明るさは自分で光っているのではなく、太陽の光を受けて美しく輝いています。

この2つを組み合わせたのが、「明（るい）」という字です。

ですから、「明るいクラスづくり」のためには、自ら燃える部分、明るく照らす部分を出せる人と、それを受けて明るさを反射させる人、つまりムードづくりをする人、両方の働きをする人が大切です。

つまり、太陽の役割をする人と、月の役割をする人、どちらもいてはじめて明るいクラスをつくることのできるのです。

ちなみに、実際の空には、いろいろな輝きをもつお星様や時には太陽を隠し、暑すぎる日差しを遮る雲なども、大事な働きをしていますね。

みなさんのクラスにも、いろいろなよさをもったお友だちがいます。

自分と同じよさをもったお友だちもいれば、自分にはないよさをもったお友だちもいます。

だからこそ、よいのです。

だからこそ、明るく 元気なクラスがつかれるのです。

それぞれのよさが輝くクラスにできるよう、太陽の役割の人、月の役割の人、星、雲、…、「みんなで（協働・共生）」力を出し合ってください。

「みんなのために（貢献・自己有用感）」力を出し合えるクラスを創ってみてください。

まずは、6月までにどんなクラスにできるか、楽しみにしています。

本日の全校朝会(オンライン)で、子供たちに話した内容です。

子供たちには、それぞれのよさがあります。

そのよさを引き出し、磨きをかけるのが、私たち教職員であり、各ご家庭の皆様です。

そして、そのよさを、学級や学年などの集団社会において、発揮させていくことが、それぞれのお子様の社会における存在価値や自己有用感を高めることにつながっていくと考えております。

くり返しになりますが、本校の合言葉の一つでもある「みんなで（協働・共生）」「みんなのために（貢献・自己有用感）」の取組として、子供たち一人一人に意識させ、学級や学年集団として共通行動をしていく場面やそれぞれの役割に応じた働きをさせていく場面などを通して、進めてまいります。（感染防止対策を講じながら）

ご家庭におかれましても、お子様のよさ（自覚していることや自分では気付いていないことを含め）を話していただき、それを集団の中で発揮できますよう、励ましていただければ幸いです。ご理解ご協力をお願いいたします。

校長 石井 宏明

